

# ポルトガル月報

2023年6月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

【内政】★レベロ・デ・ソウザ大統領、「ポルトガルの日」で祝辞を述べる。

★ロベルタ・メツォラ欧州議会議長がリスボンを訪問

【外交】★アントニオ・コスタ首相、アンゴラを訪問

★大石長崎県知事がポルトガルを訪問

【経済】★ポルトガル投資貿易促進庁(AICEP)新会長兼CEO就任

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

## 内政

### ★レベロ・デ・ソウザ大統領、「ポルトガルの日」で祝辞を述べる

6月10日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、ポルトガル北部のペーゾ・ダ・レグーアで行われた「ポルトガルの日」を祝う式典に出席し、祝辞を述べた。レベロ・デ・ソウザ大統領は「毎日、私たちは喜びと悲しみの中でポルトガルを創造していることを実感している。毎年6月10日は、それぞれ異なる日であり、毎年この日に私たちは約900年の過去を思い起こし、現在への力を倍加させ、新しい未来を夢見るのだ。(中略)ポルトガル語は世界で5番目に多く話されている言語であり、南半球で2番目に多く話されている言語及びデジタル言語である。また、約200か国の中から選出された国連事務総長もポルトガル人であり、再選したのもポルトガル人である。(中略)この美しいドウロ川の側で、私たちの未来を、現在より更に良いものにするために、再創造しよう。ドウロ川万歳！ポルトガル万歳！」と力強く締めくくった。

### ★ロベルタ・メツォラ欧州議会議長がリスボンを訪問

6月15日、ロベルタ・メツォラ欧州議会議長はリスボンを訪問し、共和国議会でスピーチを行った。メツォラ欧州議会議長は演説内で「ヨーロッパは、戦争、経済、気候変動、パンデミック後の回復など、我々が直面して

いる課題は多くあるが、その課題を乗り越えようとする我々を誇りに思っている」と述べた。アントニオ・コスタ首相は来年行われる欧州議会選挙に言及し、「欧州議会は欧州の民主主義の中心である。2024年6月の選挙は、我々が望む欧州を実現すべく意見を述べる事ができる絶好の機会である」と、自身のツイッターを用いて、来年の欧州議会選挙への投票をポルトガル国民へ促した。尚、メツォラ欧州議会議長によるポルトガル訪問は、5月にレベロ・デ・ソウザ大統領が欧州議会で演説を行った際にロベルタ・メツォラ議長を招待し実現したものである。

### ●レベロ・デ・ソウザ大統領が「世界難民の日」にメッセージを发出

6月20日、レベロ・デ・ソウザ大統領は国連が定める「世界難民の日」に大統領府ホームページにメッセージを掲載した。レベロ・デ・ソウザ大統領は、ポルトガルの難民に対する寛容さと、難民に対する差別反対に言及しつつ、「世界には約4,300万人の難民がおり、彼/彼女等の将来を守っていかなければならない」と述べた。ポルトガルの政府発表によると、2022年にポルトガルが受け入れた難民の数は過去7年間の1.3倍であった。2015年から現在まで、一時待機難民も含めると7万2,000以上の難民がポルトガルに到着し

た。6月20日の「世界難民の日」にトルコから新たに33人の難民がポルトガルに到着した。

### ●インテルカンパス社の世論調査結果

6月2日、インテルカンパス社は政党支持に対する世論調査の結果を発表した。与党・社会党（PS）の支持率は22.4%（前月比2.8ポイント減）となった。最大野党・社会民主党（PSD）の支持率は24.1%（前月と同値）となり、最大野党PSDの支持率が与党PSを上回った。その他政党では、左翼連合（BE）、リベラル主導党（IL）、自由党（Livre）、人と動物と自然の党（PAN）の支持率は増加した。第3政党であるシェーガ党（CH）の支持率は11.8%（前月比1.4ポイント減）となった。以上の結果を踏まえると、右派政党の合計支持率（44.0%）は、左派政党の支持率（38.0%）を大きく上回る。

同社による最新の政党別支持率は以下のとおり。

政党	12月	1月	2月	3月	4月	5月
PS	27.0	26.3	23.4	25.9	25.2	22.4
PSD	22.1	24.9	22.8	24.2	24.1	24.1
CH	9.6	9	11.6	13.5	13.2	11.8
IL	7.5	6.4	7.4	7.0	7.3	8.1
BE	7.5	6.3	4.8	6.7	7	7.9
CDU*	3.8	3.1	3.9	3.2	4.3	3.8
PAN	3.1	3.1	2.4	1.5	2.3	3.6
CDS**	1.9	0.6	0.9	1.3	1.4	2.2
Livre	1.7	2.0	1.3	2.4	1.1	2.2

※ポルトガル共産党（PCP）・緑の党（PEV）の連合

※※現在無議席

### 外交

#### ★アントニオ・コスタ首相、アンゴラを訪問

6月5日、6日、アントニオ・コスタ首相はアンゴラを訪問し、ジョアン・ロウレンソ/アンゴラ共和国大統領と会談した。会談後にコスタ首相は、経済・金融分野を中心とする13の二国間協力協定に調印した旨を発表した。注目すべきは、「戦略的協力プログラム2023/2027」である。同プログラムでは、ポルト

ガル・アンゴラ間の信用供与枠が15億ユーロから20億ユーロに増額となった。アントニオ・コスタ首相は、今後のアンゴラとの協力について、「教育、司法、内政といった従来の分野に加え、観光、行政、デジタル移行、ブルーエコノミーといった新たな分野でも協力を広げていく」と述べた。加えて、コスタ首相は、レベロ・デ・ソウザ大統領が、来年4月25日の革命50周年を記念する式典に、アンゴラを含むポルトガル語圏アフリカ諸国の首脳を招待すると発表した。

#### ●レベロ・デ・ソウザ大統領、南アフリカを訪問

6月5日から8日にかけて、レベロ・デ・ソウザ大統領は、シリル・ラマポーザ南アフリカ共和国大統領の招待により、同国を訪問した。レベロ・デ・ソウザ大統領はケープタウン、ヨハネスブルグ及びプレトリアを訪れ、一部日程にはアントニオ・コスタ首相、エレナ・カレイラス国防大臣も同行した。両大統領間の会談に加え、ヨハネスブルグでは大学訪問やアパルトヘイト博物館の見学も実施された。加えて、訪問した3つの都市で、6月10日の「ポルトガルの日」を祝うべく、在南アフリカ共和国のポルトガル人との交流も行われた。ポルトガル大統領が最後に南アフリカを訪れたのは、2013年であり、今回の訪問は以来10年ぶりとなった。

#### ●ポルトガル政府、カナダに消防士100人以上を派遣

ポルトガル政府は、カナダのケベック州で起こっている大規模な森林火災に対応するため、200人以上の消防士を現地に派遣すると発表した。派遣部隊には、消防士に加え、国家緊急・市民保護局、国家警備隊（GNR）の職員などが含まれる。ポルトガルの部隊は、フランス、スペインの部隊と共にEU市民保護メカニズムに基づいて派遣され、計280人の消防士が派遣される。ポルトガル政府の発表によると、今回の派遣は、「ポルトガルにおける翌週の森林火災リスクが極めて低い」ことから決定された。ポルトガルでも近年、気温上昇、降雨不足及び森林火災による影響が問題視されている。国内の森林に関しては、6月7日、ドウアルテ・コルデイロ環境・気候行動大臣が、ポルトガル議会農業・漁業委員会の公聴会の冒頭演説にて「今後、林業分野に4億5,000万ユーロ以上の投資を行う」と述べ、国内の森林火災予防対策の強化を強化する旨発言した。

#### ●レベロ・デ・ソウザ大統領、英国を訪問

6月14日、15日、レベロ・デ・ソウザ大統領は英葡永久同盟（1373年に結ばれた世界最古の軍事同盟）650周年の記念行事に参加するため、イギリスを訪れ、バッキンガム宮殿で国王チャールズ3世に歓迎された。記念式典はイギリス・ポルトガル軍双方の協力の下行われた。

#### ●マッキー・サル/セネガル共和国大統領のポルトガル訪問

6月20日、マッキー・サル/セネガル共和国大統領はポルトガルを訪問し、レベロ・デ・ソウザ大統領に歓迎された。その後、アントニオ・コスタ首相との会談も実施された。コスタ首相は会談後、「セネガルにはすでにポルトガル企業が進出しているが、ブルーエコノミー、エネルギー、インフラなどの分野では、まだまだ開拓の余地がある」とポルトガル企業の更なるセネガルへの進出を促す旨を発言した。その後、マッキー・サル大統領は、レベロ・デ・ソウザ大統領主催の晩餐会に参加し、コスタ首相、サントス・シルヴァ共和国議会議長などが参加した。

#### ●コレイア・イ・シルヴァ/カーボベルデ共和国首相のポルトガル訪問

6月20日、コレイア・イ・シルヴァ/カーボベルデ共和国首相はポルトガルを訪問し、アントニオ・コスタ首相と会談した。訪問期間中、両首相の立ち会いの下、ポルトガル側が約1,200万ユーロを拠出する環境気候基金を設立するための二国間協定に署名がなされた。アントニオ・コスタ首相は、「気候変動への移行を加速させるために必要な投資資金を調達するために、既存の債務を基金に転換するものであり、世界的に見ても革新的な仕組みである。」と述べた。コレイア・イ・シルヴァ首相は、再生可能エネルギー（風力、太陽光）、グリーン水素、電気モビリティ分野へのポルトガル企業からカーボベルデへの投資を期待している旨を述べた。

#### ★長崎県知事がポルトガルを訪問

6月23日から26日にかけて、大石賢吾長崎県知事がポルトガルの2都市（ポルト・リスボン）を訪問した。長崎市と姉妹都市であるポルト市では、ルイ・モレイラ/ポルト市長を訪問し、会談した。リスボンでは、本使、ヴィットル・セレーノ駐日ポルトガル大使の立ち会いの元、ポルトガル外務省・カモoins言語協力院と長崎県の間で協力覚書が結ばれ、フランシスコ・アンドレ外務・国際協力担当副大臣と大石知事が署名した。また、大石知事は24日に開催されたリス

ボン日本祭りにも出席した。大石知事は、自身のツイッターにて、「長崎県は、ポルトガル船が平戸に来港して470年余りの交流の歴史がある。今回の訪問では、共にこれまでの歴史に感謝し、また、これからの未来への想いを確認した。」と述べた。

#### ●ジェラルド・アルキミン/ブラジル副大統領のポルトガルを訪問

6月28日、29日、ジェラルド・アルキミン/ブラジル副大統領がポルトガルを訪問し、アントニオ・コスタ首相及びレベロ・デ・ソウザ大統領と会談した。訪問初日はコスタ首相と会談し、4月に行われたポルトガル・ブラジル/ビジネスフォーラムを振り返り、二か国間の経済協力について意見交換がなされた。29日には、レベロ・デ・ソウザ大統領主催の昼食会が開かれた。両者は、欧州連合やポルトガル語圏共同体（CPLP）の枠組みを含む二国間および多国間の問題について話し合った。

#### 経済

#### ●国内39の企業で、週休3日制を試験導入

6月5日より、工業、ソーシャル・サービス、商業など、国内39の企業にて週休3日制度が試験導入された。週休3日制の労働者へのメリットとして、生産性の向上、心身の健康の維持、生活の質の向上などが挙げられる。企業側は、労働時間の削減によるエネルギーの節約などが挙げられる。今回のパイロット・プロジェクトは6か月間行われる予定で、政府は事務・技術的なサポートは提供するものの、財政的支援は行わない。

#### ★ポルトガル投資貿易促進庁(AICEP)新会長兼CEO就任

6月5日、フィリップ・サントス・コスタAICEP会長兼CEOが就任した。任期は3年となる。それに伴い、6月19日、AICEPは新たな任期への目的を発表するセッションを開催した。開会式で、ゴメス・クラヴィーニョ外務大臣は「国際化するビジネスの難しさに対応するため、ポルトガル企業の実力強化を継続していかなければならない。特に、まだ海外進出をしていないポルトガル企業へのサポートが重要である」と述べた。その後、サントス・コスタ新AICEP会長兼CEOは、

「我々は、高度技術を持った外国企業をポルトガルに誘致し、高価値で輸出可能な製品を製造したいと考えている」と、更なる海外企業のポルトガル進出を期待する旨を述べた。

### ●2023年4月の貿易取引量の発表

6月9日、国立統計院（INE）は2023年4月の貿易取引量の変化に関する数値を発表した。4月の貿易取引量は、前年同月と比較し、輸出が-3.6%、輸入が-5.7%増加した、貿易収支の赤字は、前年同月と比較すると2億6,900万ユーロ減少し、22億4,500万ユーロとなった。

### ●2023年5月の消費者物価指数の発表

6月14日、国立統計院（INE）は2023年5月の消費者物価指数（CPI）を発表した。5月のCPIは前月を1.7%ポイント（p.p）下回る4.0%となった。なお、本数値は、4月中旬より施行された一部の生活必需食品に対する付加価値税の一時的撤廃の影響であると考えられている。他方、インフレの指標となる食料品及びエネルギーを除いたコアCPIは5.4%とであり、前月から1.2%の減少となった。

### ●欧州統計局、EU内の貧困に関する統計を発表

6月14日、欧州統計局によると、2022年、ポルトガル人口の20.1%が貧困及び社会的排除の危険にさらされている。この数値は欧州諸国の中で12番目の低さであり、欧州平均（21.6%）をわずかに下回る。ポルトガルの数値は前年2021年の22.4%から改善した。EU内で最も高い数値は、ルーマニア（34%）、ブルガリア（32%）、ギリシャ、スペイン（26%）であった。

### ●2023年の経済成長率予想の発表

6月16日、ポルトガル銀行は、2023年度の経済成長率予想を発表した。今回発表された数値は2.7%となり、前回の発表（1.7%）から上方修正となった。アントニオ・コスタ首相は、「今回のポルトガル銀行の

発表において最も重要な事は、この成長はポルトガル経済の構造的変化によるものである」と述べ、政府が行ってきた経済政策の効果について前向きに発言した。

### ●2023年5月時点での失業者数の発表

6月20日、ポルトガル職業安定所（IEFP）は5月の失業率を発表した。IEFPの発表によると、2023年5月時点で、国内全土で28万5,855人が失業者登録を行っており、同年前月から3.2%の減少となった。前年同月との比較では、3.6%の減少となった。失業者全体に対する若年失業者数は30,011となり、同年前月比で5.8%の減少となった。今月の失業者数はポルトガル全域で減少したが、特にアルガルヴェ地域での減少（同年前月比15.9%）が顕著であった。

（了）